平成 25 年度事業報告書

平成 26 年 6 月
公益財団法人 高原環境財団

当財団は、平成 20 年 11 月 25 日に環境省より設立許可をいただき、特例民法法人として設立されましたが、今般の公益法人制度改革に伴い、平成 24 年 4 月 1 日より公益認定法人に移行、これに伴い名称を「財団法人高原環境振興財団」から「公益財団法人高原環境財団」に変更いたしました。

公益財団法人として 2 年目である平成 25 年度（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）の事業状況は、次のとおりであります。

１．理事会・評議員会開催状況

(1)第 6 回理事会（平成 25 年 6 月 8 日、決議の省略）

【主な決議事項】

・平成 24 年度事業報告承認
・平成 24 年度決算書承認
・第 3 回評議員会招集承認

(2)第 3 回評議員会開催（平成 25 年 6 月 19 日）

【主な報告・決議事項】

・平成 24 年度事業報告報告
・平成 24 年度決算承認

(3)第 7 回理事会開催（平成 25 年 6 月 19 日）

【主な決議事項】

・平成 25 年度助成事業決定
・平成 25 年度事業計画一部修正

(4)第 8 回理事会（平成 25 年 12 月 24 日、決議の省略）

【主な報告・決議事項】

・平成 25 年度助成事業進捗報告
・平成 26 年度助成事業選考委員選任
・平成 26 年度助成事業選考委員長選任

・平成 26 年度助成事業募集要項承認

・平成 26 年度助成事業選考委員会評価基準承認

(5)第 9 回理事会開催（平成 26 年 3 月 26 日）

【主な報告・決議事項】

・平成 25 年度助成事業実績報告

・平成 26 年度事業計画承認

・平成 26 年度収支予算承認

・平成 26 年度資金調達及び設備投資計画承認

２．助成事業

(1)平成 25 年度助成事業

①募集業務

平成 24 年 12 月 10 日開催の理事会で、平成 25 年度助成事業募集要項等事業の詳細が決定されたことを受け、平成 25 年当初より平成 25 年度の助成事業の募集業務を本格的に開始しました。緑化を伴うヒートアイランド対策、並びに子供たちの環境学習活動の関係団体等を訪問して資料を配布するとともに、当財団のホームページ、関係団体等からの情報発信、電子メールや電話による質疑応答などにより助成事業の広報に努めました。

②応募受付

平成 25 年 5 月 24 日の締切日までに、緑化を伴うヒートアイランド対策に 4 件、子供たちの環境学習活動に 32 件の応募がありました。

③助成事業決定

平成 25 年 6 月 18 日に開催の選考委員会において審査の結果、緑化を伴うヒートアイランド対策 2 件、子供たちの環境学習活動 16 件が助成を行うに相応しい事業として選定され、理事長宛に報告されました。

この報告を受け同月 19 日開催の理事会において、平成 25 年度助成事業が決定されました。

④助成事業実績

助成事業採択された事業者には平成25年6月24日付で決定通知を送付し、その後各事業者により事業が実施されました。

採択された各事業者によって、それぞれ事業が進められましたが、子供たちの環境学習活動において、事業者の都合による助成金辞退が発生しましたが、それ以外の事業においてはほぼ予定通り事業が完了しました。これにより平成26年3月までに8,602,000円の助成金支払いを行いました。助成事業の実施実績は別表「公益財団法人高原環境財団 平成25年度 助成事業一覧」のとおりです。

(2)平成26年度助成事業

・募集業務

平成25年12月24日の理事会で、平成26年度助成事業募集要項等事業の詳細が決定されたことを受け、平成26年当初より平成26年度の助成事業の募集業務を開始しました。緑化を伴うヒートアイランド対策、並びに子供たちの環境学習活動の関係団体等を訪問して資料を配布するとともに、当財団のホームページ、関係団体等からの情報発信、電子メールや電話による質疑応答などにより助成事業の広報に努めました。

以　上

公益財団法人高原環境財団　平成25年度　助成事業一覧

緑化を伴うヒートアイランド対策事業

決定番号	事業名	申請額（円）	申請者	主な事業地	事　業　内　容	完了報告書提出	助成金支払
25-11	大阪市立大学学術情報総合センター屋上「憩いの庭園」設置事業	2,000,000	大阪市立大学学術情報総合ｾﾝﾀｰ 所長　橋本　秀樹	大阪市 住吉区	屋上の既存の3つの花壇及び新設の花壇にｵﾘｰﾌﾞやｼﾏﾄﾈﾘｺ等の樹木を配置し、周辺に地被類（ﾛｰｽﾞﾏﾘｰ、ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰ等のﾊｰﾌﾞやｶﾗｰﾘｰﾌ）を植え、一般にも公開して香りや花を楽しめる憩いの場を作った、新設部はﾃｰﾌﾞﾙ型の植栽枡のため周囲に椅子を設置し、寛ぎの空間とする。	2月19日	2,000,000
25-12	健康交流センター花いろヒートアイランド対策事業	845,000	東洋メンテナンス有限会社 代表取締役　小原　茂徳	大分県 豊後高田市	市民に親しまれている「健康交流センター花いろ」のガラス製壁面にｸﾞﾘｰﾝｶｰﾃﾝを施工、維持管理し、室内温の抑制、光熱費の節減、緑化環境の推進を図った。	8月28日	845,000
	小　計	2,845,000					2,845,000

子供たちの環境学習活動事業

25-21	西広瀬・丸根山ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟの完成を目指して－ESDの理念に基づいたふるさとの環境保全活動－	500,000	豊田市立西広瀬小学校 校長　柴田　恭孝	愛知県 豊田市	①ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟに看板、歩道、橋整備、②森の管理、整備技術を身に付け、間伐、保水力を学ぶ、③池を整備し、絶滅危惧種繁殖に挑戦、④川の上下流団体、学校との交流、等を実施した。	2月21日	500,000
25-22	阪神都市圏における学校・園庭ビオトープ活用支援	383,000	阪神・都市ビオトープフォーラム 代表　戸田　耿介	大阪市 北区	神戸市内7校園に対し45回、大阪市内2校に対し2回の支援を行った①多様な環境整備、生物多様性に配慮した動植物移入、③情報ﾉｳﾊｳ共有、組織化、④ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟ環境教育実践、⑤多主体連携体制確立、の中からｺｰﾃﾞｨﾈｲﾄを実施した。	3月6日	307,000
25-23	里海再生のための活動	210,000	東岐波里海再生の会 会長　寿恵村　泰生	山口県 宇部市	小学4年生の環境学習の一環として、①キワラビーチの自然観察会、②使い捨てカイロを使った川の浄化活動、③アサリの稚貝放流、を実施した。	1月20日	194,000
25-24	幼稚園から緑をつなぐ地域・世代・未来プロジェクト	500,000	わかふじ幼稚園 設置者　秦野　俊一朗	神奈川県 藤沢市	①幼稚園を通しての世代間連携、②通園路や園外保育での緑環境教育、③幼小交流、④園内緑環境教育の充実を実施した。	3月10日	500,000
25-25	ESDの視点を取り入れた、学校での環境教育～学校でのPLT（木と学ぼう）プログラムの実践～	320,000	NPO法人　えんぱわめんと堺／ES 代表理事　北野　真由美	大阪府 堺市	堺市、富田林市、柏原市、河南町の小学校で、校庭や公園でPLTﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを34回実施。ｽﾀｯﾌが子供達と関わり、動植物との自然体験を一緒に楽しみ、発見し、共感することで、子供の自然に対する興味を引き出し、繋がり、生を実感させる活動を実施した。	3月13日	320,000
25-26	こどもエコライフチャレンジ	400,000	NPO法人　エコライフ生駒 代表理事　桐木　　肇	奈良県 生駒市	夏・冬休みに家庭のｴｺﾗｲﾌ実践のため、事前・振り返り学習会を開催。事前学習（未来の気候、温暖化等）、振り返り学習（ｴｺﾗｲﾌ診断書、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ等）を小学校9校で21回実施した。	2月24日	400,000
25-27	平成25年度自然体験学習～自然の中のミクロの世界を探検しよう～	247,000	NPO法人 イーハトーブ宇宙実践センター 理事長　大江　正嗣	岩手県 奥州市	子供達に身近な自然を通して科学的な物の見方を深め環境保護の意識向上を図るﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを実施、①ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、②川体験（水中生物採取観察、ｽﾄｰﾝﾍﾟｲﾝﾃｨﾝｸﾞ等）、③森体験（生物採取観察、創作活動等）、④まとめ（体験発表）、を行った。	1月9日	247,000
25-28	上総掘りでビオトープ3000人プロジェクト	500,000	船橋市立中野木小学校 校長　大久保　俊輝	千葉県 船橋市	児童、保護者、住民で上総掘りで井戸を掘りポンプを付けてﾋﾞｵﾄｰﾌﾟを作る。環境学習を行うとともに、防災訓練などにも活用する。人的ﾈｯﾄﾜｰｸ構築ﾂｰﾙとして活用。	助成辞退	
25-29	海岸ウォーク「海辺の生き物観察会」	500,000	NPO法人 サンクチュアリエヌピーオー 理事長　馬塚　丈司	静岡県 浜松市	①海岸を歩き漂着生物やｽﾅｶﾞﾆ、野鳥等を観察、ｱｶｳﾐｶﾞﾒの繁殖地であることから産卵調査、卵の保護方法体験、②車両の海岸走行問題を知る、③ﾋﾞｰﾁｸﾘｰﾝｱｯﾌﾟを行い、ｺﾞﾐの悪影響を知る、④流木や貝殻でクラフト教室、等を実施した。	3月10日	500,000
25-30	すくすくの森いきもの探検隊	412,000	NPO法人 四国自然史科学研究センター 理事長　町田　吉彦	高知市	週3回実施しているすくすくの森の活動で、生き物を捕獲し実体顕微鏡などで観察、ﾀﾌﾞﾚｯﾄPCで鳴き声、生態などを説明する。自動撮影装置で哺乳類行動を知り、多角的に理解する。本事業を通じ園児たちは多くの生き物に触れ、生命の繋がりを理解する助けになった。	1月9日	412,000
25-31	「地域の自然×コミュニケーション」促進事業	377,000	あおぞら財団 理事長　村松　昭夫	大阪市 西淀川区	①7・8月－自然体験会候補地選定、日程確定、②9～12月－幼児の自然体験会開催（3回）による、自然の中での活動実践、検証、③1～3月－普及啓発ﾂｰﾙとしてリーフレットの作成・配布、を実施した。	3月14日	377,000
25-32	おもいっきり金剛山！　教師のたまごがプロデュース	500,000	NPO法人　体験学習ネットワーク 代表理事　田中　利男	大阪府 河内長野市 （金剛山）	金剛山登山および海洋センターでのｷｬﾝﾌﾟ活動を3回実施、子供達が協力し団結する心と判断力、忍耐力の養成に努めた。併せて教職課程にある学生を対象とした人材育成研修を3回実施、体験学習法に基づく教授法を学び指導者としてOJTを体験し、習得した知識・技能の習得を図った。	2月1日	500,000
25-33	ゲームと野外体験で学ぶ「京都KIDSエコスクール」プロジェクト	500,000	NPO法人　環境コミュニケーションプロジェクト 理事長　田中　如水	京都府 丹南市	自然環境保護と自然ｴﾈﾙｷﾞｰを学ぶｵﾘｼﾞﾅﾙｶｰﾄﾞｹﾞｰﾑ500ｾｯﾄを制作、京都市内の自動施設等に配布、ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ開催。水力発電見学とﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ風力発電器を作る野外ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟを開催。	助成辞退	
25-34	～まちの中の森づくり活動～	500,000	NPO法人　こどもりクラブ 理事長　金子　紀和	横浜市 磯子区	木に触れ木に親しむ（工作、木工教室等）および木を使っていく大切さを伝える（環境授業）を合計17回開催、併せて環境保全活動（ｴｺ活動推進ﾉｰﾄ「家族で未来の種まきﾉｰﾄ」を作成、出前授業とｾｯﾄで配布）を実施した。	3月12日	500,000
25-35	みどりのアートプロジェクト	500,000	みどりが丘小学校学校支援委員会 環境整備部　代表　鈴木　介人	千葉県 八千代市	校庭外周部の法面に子供達と春に咲く芝桜を植栽するに当たり、植栽場所をｷｬﾝﾊﾟｽに例えて、花の色を利用してどのように植えるかをﾃｰﾏとした「緑とｱｰﾄ」の植栽案を子供達から募集、600の応募から選んだデザインで植栽を行った。	11月22日	500,000
25-36	森林環境教育「しおのえの里山ﾌﾟﾚｰﾊﾟｰｸで学ぼう！遊ぼう！」	500,000	NPO法人 グリーンコンシューマー高松 代表理事　勝浦　敬子	香川県 高松市	市農林水産課、県林業事務所等の指導を受け、塩江の里山保全活動を行う。地域活動団体と協働しﾌﾟﾚｰﾊﾟｰｸづくり、ｶﾌﾄﾑﾝの寝床づくり、古井戸再生を行い、竹細工体験等を実施する8月4日のイベントには児童36名が参加した。	3月15日	500,000
	小　計	6,849,000					5,757,000

申請額　合計	9,694,000		支払額　合計	8,602,000